

●学部学生 約14,000人 ●大学院生 約12,200 ●教員 約1,800人

ホームページ <http://www.unilim.fr>

交流協定締結年月日：2011年3月14日 主管学部：創造工学部

フランス共和国



国際交流の特色

1968年に創立されたリモージュ大学（UL）はフランス西部に位置する5学部から構成された、西部地域の中心となる大学である。リモージュは、フランスで陶器の町として有名であり、有名な陶器ブランドの会社が店を並べた、歴史ある古い町である。工科系学部としてはENSIL（リモージュ高等工学院）があり、実践的な教育を実施している。なかでも電気自動車、自転車については、自動車の設計から製作まで一貫して行い、学生が各種のコンクールに参加するなど、多くの実績を持つ。

交流実績（平成31年度～令和3年度）

年度	H31	R2	R3
受入・派遣			
学生の受入	1	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）		0	0
オンライン交流参加者（相手機関）		0	0



教員からの声

ここ数年は、新型コロナウイルスの影響もあり受入・派遣も少なくなっていますが、以前は、毎年、数名の学生の受入が行われていました。ロボット研究会のメンバーが多く、デバイス開発、ソフト開発に長けた学生が来ています。受入れ学生は、約6か月間、日本の魅力である安全と伝統文化、香川の魅力である瀬戸内海と四国の豊かな自然を満喫してフランスに戻ります。ウィークデーは研究活動に専念し、週末は目一杯楽しみます。日本人学生も彼らとの交流から学ぶことが多くあります。

創造工学部教授 前山 祥一

学生からの声

私は、将来は世界で活躍出来る技術者になりたいと考え、学生の間に海外で実際に研究活動をしたと思っていました。そこで、国際インターンシップに応募し、2014年12月から3ヶ月間、フランスのリモージュ大学のXLIM Research Instituteで、インターンシップをさせていただきました。インターンシップを通して、研究活動に対してフランスの人々がどういったことを大切に思っているかということがわかり、日本人との違いを学ぶことが出来ました。生活面においても、様々な国籍の人と友達になることが出来ました。学外に出ると、ほぼ英語は通じませんでしたが、リモージュの人々は非常に親切で、多くの人に助けていただきました。リモージュでの3ヶ月は、将来に向けた経験だけでなく、私にとってかけがえのないものとなりました。

少しでも国際インターンシップに興味があるのなら、ぜひ参加してみてください。全力でオススメです！

平成26年度 国際インターンシップ派遣学生 工学研究科 西岡 圭介